SILVER JINZAI CENTER
HANNO

安全就業ニュース

H31.4.1　安全委員会発行

「安全はすべてに優先するもの」
飯能市シルバー人材センターは、就業中や就業途中での無事故を目指します。

４月から新しい年度が始まります。昨年度（平成３０年度）に発生したシルバー保険（傷害保険、賠償責任保険）の対象となった事故を報告しますので、この教訓を活かして新年度『事故ゼロ』となるようご協力をお願いします。

１　傷害保険　　１件

傷害保険の対象となった保険が１件（植木剪定中に梯子から落下による大腿骨骨折）発生してしまいました。事故を防ぐためには、慣れた作業でも慌てずにしっかり準備してから作業をしましょう。また、県内のセンターでは就業場所から自宅までの途中での交通事故や転倒による怪我が増加しています。徒歩、自転車での移動をする会員は、無理な横断をしない等の交通ルールをしっかり守ることや、自らの体力に過信することなく、ゆとりのある行動をするよう今後も心掛けましょう。

２　賠償責任保険　　５件　損害額　１８３万円（損害額算定中　１件を除く）

賠償責任保険の対象となった事故が５件発生してしまいました。各事例については次のとおりですが、この事例を参考とし、自らが同じ状況に置かれた時に繰り返さないよう原因と結果を理解していただき、安全な就業に繋げていただくようお願いします。

⑴　４月９日（月）　鍵の紛失による鍵の交換　　損害額　８万円

【事故発生の状況】

行政センター館管理の業務終了後、玄関自動ドア及び事務室の鍵を紛失した。後日、館外で見つかったが、第三者が鍵を複製していることも考えられるため、防犯上の理由から新しい鍵に交換した。

☞　施設管理で預かる鍵は、帰宅後も鍵の有無を確認し、保管場所を決めておく等の対策をお願いします。また、館内には貴重品が多くあります。紛失した際は、鍵を拾った不審者が館内に侵入することも考えられますので、直ちに事務局まで連絡してください。

⑵　５月３１日（木）　飛び石による自動車リアガラス等破損　　損害額　１１０万円

【事故発生の状況】

刈払機を使用した草刈作業中に飛び石が発生し、飛び石防止ネットを飛び越えて駐車していた自動車のリアガラスに当たりガラス損傷及び車体に傷が付いた。

☞　刈払機を使用する際に発生する飛び石は広範囲に飛散します。また、刈払機と飛散防止ネットの距離があると飛散防止ネットを超えて飛ぶこともありますので、飛散防止ネットを張る位置や高さにも注意が必要です。特に自動車が近くにある場合は、事前に自動車を移動していただくことや、補助者が作業者の近くで飛散防止ネットやベニア板を持って防止に努めてください。また、歩行者がいる場合は、作業を一時休止するなど安全に配慮した就業をお願いします。

⑶　１０月２９日（月）　飛び石による雨樋の破損　　損害額　５万円

【事故発生の状況】

刈払機を使用した庭の草刈作業中に飛び石が発生し、飛び石防止ネットを張っていたため窓ガラスは無事であったが、家の脇の雨樋に当たり破損した。

☞　庭での刈払機の使用は、窓ガラスの保護に注意がいきますが、それ以外にも雨樋やプラスチック製品等の保護も必要になります。事前に壊れやすいものがないかを確認し、飛散防止ネットの設置や移動できるものは安全な位置へ移動する等、事前の対策をお願いします。

⑷　１月９日（水）　塗装作業中に家の外壁の一部を損傷　　損害額　算定中

【事故発生の状況】

塗装作業中に使用していた左官道具が外壁と接触し、砂壁に傷が付いた。

☞　作業前に現場周辺を見渡し、作業中に接触してしまった時に傷が付く可能性があるものの有無を確認してから作業してください。また、傷が付きそうな場所がある場合には、作業前、作業後に依頼主と一緒に現状の確認（傷の有無等）を必ず実施してください。

⑸　１月２９日（火）　植木剪定中に隣家のブロック塀に足を掛けた時に崩れ、自動車ボンネット等を破損　　損害額　６０万円

【事故発生の状況】

隣家との境界近くにある樹木を剪定する際に、梯子を立てる場所がなかったため、隣家のブロック塀に足を掛けたところ、ブロック塀が崩れ、使用していた器具とブロックの一部が駐車していた自動車に当たり損傷した。

☞　許可なく隣家の所有物を使用して作業することは問題があります。依頼主の敷地内に作業する場所がない時は、このような理由で作業できないと依頼主又は事務局に伝え、作業を断ってください。それでも、隣家の敷地で作業する必要があるのであれば、依頼主から隣家にお願いしていただくよう伝え、隣家が了解した場合のみ作業を認めます。

（参考）安全委員会とは

会員の安全就業と健康意識の高揚を促し、事故の未然防止を図るため当センターに設置されている委員会（委員６名）で、安全就業に関する会議を始め、会員の現場訪問（H30 年度 21 箇所を訪問）を実施し、事故防止のための指導をしています。

委員長　金山　哲　　副委員長　浅見昌市

委　員　本橋伸夫、五十嵐久二、野口秀夫、小川弘之